

## 第1学年国語科学習指導案

日 時 平成27年10月 6日 (火) 5校時  
児 童 男子10名 女子10名 計20名  
指導者 高橋 洋子

- 1 単元名 すきなじどう車についてしらべ, じどう車ずかんをつくろう  
教材名 「じどう車くらべ」(光村図書)  
補助教材 「はたらく自動車ずかん」 (高島鎮雄 成美堂出版)  
「改訂新版 3さいからのりのりものずかん はたらくくるま」  
(小賀野実 ひかりのくに)  
「大きなずかん はたらくじどう車1~4」 (元浦年康 学研教育出版)  
「くらべてみよう はたらくじどう車1~5」 (市瀬義雄 金の星社) 他

### 【付きたい力】

- ◎ 事柄の順序や文章構成上の順序を考えながら必要な情報を捉える力(読むことイ)
- 自分が選んだ車について, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考える力(書くことイ)

### 【単元を貫く言語活動】

お気に入り自動車図鑑を作り, 友達に紹介する。

## 2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「お気に入り自動車図鑑を作り, 友達に紹介する。」を位置付けた。この言語活動は、「読むこと」の言語活動例「ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。」「書くこと」の言語活動例「ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと。」を具体化したものである。

ここで取り上げる、「お気に入り自動車図鑑を作り, 友達に紹介する。」は、絵や写真と関連付けて図鑑を読み, 自分のお気に入りの自動車の「仕事」と「つくり」を説明する図鑑の1ページを書くものである。

子どもたちは図鑑を読んで, たくさんの情報の中から自分が好きな自動車を選び, 友達に伝えようとする中で, 「事柄の順序」に気を付け, 「内容の大体」を主体的に捉えて読むことができる。また, 「仕事」と「つくり」の関係を説明する文章を書くことで, 自分の考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることに迫ることができる。したがって, 本単元でねらう「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「自分の考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。」を実現するのにふさわしい言語活動であると考えられる。

### 3 単元について

#### (1) 児童について

前単元「うみのかくれんぼ」では、事柄の順序を考えて内容を読む学習を行った。図鑑などを調べ、見出しなどを手掛かりに読むことや、自分にとって必要な情報かどうかを判断し、不必要ならとばして読むことも経験している。この学習を通して本や文章を自分の力で読もうとする意欲は高まってきた。読む力も徐々についてきている。しかし、自分が必要とする情報を適切に選び出せるまでには至っていない。そこで、本単元では、教材文や図書館の図鑑等多様な説明的な文章を読むことを通して、さらに内容の大体を主体的に捉えて読む力を高めたい。

#### (2) 単元構成及び教材について

##### ① 教材について

教材文「じどう車くらべ」は、身近で興味がわく題材である。「問い→答え→答え→答え」という列挙型の構成になっている。「どんなしごとをするのか」、そのために「どんなつくりになっているのか」という具合に、問いが2つあるため、2つの段落に分けて書かれている明確な構成である。それぞれの自動車は「しごと」によって「つくり」が異なり、「しごと」と「つくり」が「そのために」という言葉で結ばれている説明文なので、事柄の順序を考えながら読み進めるのに適した教材である。これに加えて、いろいろな自動車について解説した図鑑等を並行読書材として活用する。

##### ② 単元構成について

<p>導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている自動車の紹介</li> <li>・「おきにいりじどう車ずかん」を作るという課題を設定する。</li> <li>・乗り物図鑑を読む。</li> </ul>	<p>展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を読んで、バス・乗用車、トラック、クレーン車などの「しごと」と「つくり」を読んでいく。</li> </ul>	<p>発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて教科書を読み返し、書きぶりを確かめる。</li> <li>・「おきにいりじどう車ずかん」を仕上げ、友達同士で読み合う。</li> </ul>
<p>並行読書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おきにいりじどう車ずかん」を書くための準備を進める。(自分が好きな自動車を選んでおく。)</li> </ul>	

第一次では、自分の知っている自動車について発表し合うことで、これからの学習に対して意欲を喚起させたい。また、教師の「おきにいりじどう車ずかん」を提示することで、学習のゴールを具体的にイメージできるようにする。第二次では、教材文「じどう車くらべ」を読み、全体を貫く2つの問いに対する答えが3つの事例で示されていること、「しごと」と「つくり」は密接に関連していることを学ぶ。第三次においては、第二次で学んだことを生かして、自分の選んだ好きな本を「おきにいりじどう車ずかん」に表し、友達と交流する活動を行う。

### (3) 指導にあたって

#### ① 主体的な学習を展開するために

第一次では、教科書の挿絵や数種類の自動車の写真等を掲示し、知っていることや気付いたこと、思ったことを自由に発表し合い、自動車についての関心を高める。そして、児童の主体的な読みになるように、自分の好きな自動車を選んで、「おきにいりじどう車ずかん」をつくるという単元のゴールを提示する。その際、教師が作った自動車図鑑を見せ、ゴールへの見通しをもてるようにしたい。

図鑑等から必要な情報を得ることができるようになるために、第二次の学習において、段階を踏みながら図鑑の見方・読み取り方を指導したい。また、読み取った情報を「おきにいりじどう車ずかん」に書いていくための手順等も示していきたい。

#### ② 確かな読みを保障するために

本教材では、2つの問いに対していろいろな自動車の「しごと」と「つくり」が書かれているが、「しごと」と「つくり」の関連について意識させるために、「そのために」に着目させ、そのしごとをするために特別なつくりになっていることを捉えさせたい。また、「しごと」と「つくり」を区別するために、文末の違いにも着目させたい。

さらに、「しごと」と「つくり」を付箋を活用して色分けし、はっきり捉えさせたい。これは教材文だけではなく、図鑑の読み取りのときにも使い、「しごと」と「つくり」についての認識をさらに深めたい。

第二次の学習では、それぞれの自動車について比べながら読み取り、表にまとめるが、その際にも付箋と同じ色を使うことで、児童の確かな読みにつなげていきたい。

#### ③ 交流を意欲的に進めるために

自分の考えはもっていても全体の中で発言できない児童もいるので、ペア学習を取り入れ、自己表現をさせていきたい。また、1人で探すことのできない児童にとっても、ペア学習によって考えをもつヒントになると考えられる。

第三次で、自分の好きな自動車を選択したら、同じ車種同士で交流させ、考え方をさらに広げさせたい。

## 4 単元の目標

- 自動車に関する本や図鑑を読み、進んで自動車図鑑を作ろうとする。 【関心・意欲・態度】
- ◎ それぞれの自動車について、事柄の順序を考えながら、内容の大体を読むことができる。 【読むイ】
- 自分が選んだ車について、事柄の順序に沿って、説明する文を書くことができる。 【書くイ】
- 片仮名で、長音、拗音、促音を表記することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・興味をもった自動車について説明した本や文章を選んで読もうとしたり、友達にそれを伝えたいという願いをもって書こうとしたりしている。	・自動車についての文章を「しごと」や「つくり」の事柄の順序に気を付けて読み、必要な情報を選んでいる。(イ)	・自分が選んだ自動車の特徴を伝えるために、説明の順序を考えている。(イ)	・片仮名で長音・拗音・促音を表記している。 (イ(エ))

6 単元の指導と評価計画 (全 12時間)

次	時	学 習 活 動	評 価
第一 次	1	○ 学習の見通しをもつ。 ・ いろいろな自動車の写真や教科書の挿絵などを見て、自分が知っている自動車について話をする。 ・ 教師が作成した図鑑を紹介し、お気に入りの図鑑作りをすることを確認する。 ○ 図書館の自動車に関する本や自動車図鑑を見る。	<b>関</b> 自動車について知っていることを話したり聞いたりして、図鑑作りに興味をもち、自動車に関する本や文章を進んで読もうとしている。 [発言・観察]
	2	○ 「おきにいりじどう車ずかん」を作るための学習の計画を立てる。 ○ 新出漢字を学習する。	<b>関</b> 「おきにいりじどう車ずかん」を作る見通しをもつことができる。 [発言・観察]
第二 次	3	○ 「おきにいりじどう車ずかん」の書き方を知るために、教材文「じどう車くらべ」を読み、内容の大体を読みとる。 ・ 「うみのかくれんぼ」の学習を想起させ、文末の表現に着目させて、問いの文を見つける。 ・ 答えとして自動車の仕事と作りが出てくることを押さえる。	<b>読</b> 問いが何か、答えがいくつ書かれているかを読みとっている。 [発言・ノート]
	4	○ バスや乗用車についての本文を読み、それぞれの「しごと」と「つくり」を調べる。 ○ バスや乗用車について図鑑を読み、「しごと」と「つくり」を調べる。	<b>関</b> 進んで「しごと」と「つくり」を文中から見つけだそうとしている。 [付箋・発表] <b>読</b> バスや、乗用車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。 [付箋・発表] <b>書</b> バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を書くことができる。 [図鑑シート]

5	○ トラックについての本文を読み、それぞれの「しごと」と「つくり」を調べる。	<b>読</b> トラックの「しごと」と「つくり」を捉えることができる。 [付箋・発表]	
	○ 除雪車の図鑑のコピーを読み、「しごと」と「つくり」が書かれているところを調べる。	<b>書</b> トラックの「しごと」と「つくり」をおきにいり図鑑に書くことができる。 [図鑑シート]	
6	○ クレーン車についての本文を読み、「しごと」と「つくり」を調べる。	<b>読</b> クレーン車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。 [付箋・発表]	
	○ 順序を考えながら、除雪車のお気に入り図鑑を書く。	<b>書</b> クレーン車・除雪車の「しごと」と「つくり」をおきにいり図鑑に書くことができる。 [図鑑シート] <b>言</b> 長音、促音などの表記や、句読点を正しく使って書いている。 [図鑑シート]	
7 本時	○ はしご車の「しごと」と「つくり」を、挿絵や図鑑をもとに考え、はしご車についての図鑑シートを書く。	<b>読</b> はしご車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。 [付箋・発表] <b>書</b> はしご車の説明を、「しごと」と「つくり」に分けて、「そのために」を使って書いている。 [付箋・発表・図鑑シート]	
第三次	8	○ 好きな自動車の絵本や図鑑を読み、「しごと」「つくり」を調べて書くための材料を集める。	<b>関</b> 自動車について説明されている絵本や図鑑などを読み、進んで調べようとしている。 [観察]
	9	○ 好きな自動車の「しごと」と「つくり」を書き、自動車図鑑を完成させる。	<b>読</b> 自動車について説明されている絵本や図鑑などを読んで、「しごと」と「つくり」を捉えている。 [付箋・図鑑シート]
	10 11	・ ページや目次、表紙を付ける。	<b>書</b> 調べた自動車について「しごと」と「つくり」を、「そのために」を使って書いている。 [図鑑シート]
	12	○ 友だちと交換して読み合い、感想を書く。	<b>関</b> 自分が選んだ自動車について調べたことを、友達に紹介しようとしている。 [態度]

## 7 本時の指導

### (1) 目標

挿絵をもとに、はしご車の「仕事」と「つくり」を捉え、「そのために」を使ってお気に入り図鑑を書くことができる。

(2) 展開

段階	学習内容と活動 ◇発問 ・予想される児童の支援	○支援 ・留意事項 ☆評価
つかむ 7分	<p>1 はしご車の挿絵を見て、前時に学習したクレーン車と似ているところや違うところを見つける。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>はしご車の「しごと」と「つくり」をかんがえ、おきにいりずかんにかこう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はしご車とクレーン車の構造上の違いを見つけさせ、クレーン車とは違う仕事をすることを予想させる。</li> <li>・ 今までの学習もそれぞれの自動車の「しごと」とそれに関連した「つくり」について書いてきたことを確認し、本時ははしご車の図鑑を書くことを確認する。</li> </ul>
ふかめる 33分	<p>3 はしご車についての問いの文を読む。</p> <p>4 はしご車の「しごと」が何かを予想する。 ◇ はしご車はどんな「しごと」をしていると思いますか。 ・水をかけて火事を消す「しごと」です。 ・高いビルの火事を消します。 ・高いところに逃げ遅れた人を助けます。</p> <p>5 はしご車の「しごと」に合う「つくり」について考える。 ◇ はしご車が「しごと」をするために、どんな「つくり」になっているか、みんなで考えましょう。  ◇ はしご車がどんな「つくり」か、見つけたことを発表しましょう。 ・はしごが付いている。 ・はしごは伸びる。 ・はしごが動く。 ・クレーン車のように、しっかりしたあしが付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までのように文から探すことができないので、児童の知っている範囲で考えさせる。</li> <li>・ どの自動車もしごとに合った特別のつくりをしていたことを想起させ、挿絵や図鑑のコピーに見つけたことを書き込ませる。</li> <li>○ 隣の人と一緒に考える。 (ペア学習)</li> </ul>

	<p>◇ はしごが伸びなかったり、動かなかったりしたらどうでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高いところの火を消せない。</li> <li>・逃げ遅れた人を助けることができない。</li> </ul> <p>◇ しっかりしたあしがついていなかったらどうでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はしごが伸びると、車体がかたむいてあぶない。</li> <li>・たおれてしまうかもしれない。</li> </ul> <p>6 はしご車の「しごと」を確かめる。</p> <p>◇ はしご車が行かなければならないのは、どちらの火災でしょう。</p> <p>7 はしご車の「しごと」と「つくり」をお気に入り図鑑に書く。</p> <p>◇ はしご車の図鑑を作りましょう。「しごと」のための「つくり」を書きましょう。</p> <p>◇ 発表しましょう。</p>	<p>○ 見つけた「つくり」が、もしなかったらと考えさせることで、そのしごとをするために必然であることをおさえさせる。</p> <p>☆ はしご車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。</p> <p>[発言・図鑑シート]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通の民家の火災とビル火災の写真を提示し、考えさせる。</li> <li>・高所でのしごとであることを確認する。</li> </ul> <p>☆ はしご車の説明を、「しごと」と「つくり」に分けて、「そのために」を使って書くことができる。</p> <p>[図鑑シート]</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>8 学習を振り返り、自己評価をする。</p> <p>◇ はしご車の「しごと」と「つくり」を考えて、書くことができましたか。</p> <p>9 次時の予告をする。</p>	

(3) 板書計画

